

The Magic of ROTARY
ロータリーのマジック

2024～25 年度年度
国際ロータリー会長 Steohanie Urchick



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム
第 34 回例会 2025.6.16 (#2449) 舞の間
例会ホスト・紹介係 木寅会員
受付係 須藤会員 吉田会員
司会者 乳井会員 ソングリーダー 園田会員

卓話 「民間企業との共創を通じた、新興国・途上国における社会課題解決への取り組み」

グローバル補助金奨学生 滝尾 佳菜さん
紹介者 若林会員

前回の報告
第 33 回例会 2025.6.9 (#2448) 悠の間
例会ホスト・紹介係 杉山会員
受付係 会員 内田会員
司会者 乳井会員 ソングリーダー 園田会員

卓話 「ファミリーマートのおむすび経済圏」

ファミリーマート社長 細見 研介氏
紹介者 荒川会員

今期のモットー：「親睦を通じて奉仕を実践する」

会長報告

- 1) 今日、毎日お世話になっているFamily Mart社長の細見様に卓話をいただきます。
- 2) 来期のガバナー補佐の垣見裕司様、グループ幹事の前原秀一様(東京紀尾井町RC)がお越しです。
- 3) しんぐるまざーずふおーらむへ支援しているお米ですが、ご存じの通り高騰しておりますが、お米が買えないひとり親世帯に少しでも支援をしたいので、予定通り30袋を送ると手配を致しました。こういった支援(災害義援金、ポリオプラスなど)はみなさのご寄付のニコニコボックスから拠出しています。少しでもニコニコボックスへのご協力をよろしくお願いいたします。

幹事報告

- 1) 23日の最終例会に出席の方でアレルギーがおありの方はお申出ください。
- 2) 今期の各委員長は業績報告書を6月末までに、来期の各委員長はクラブ計画書を6月20日までに御提出下さい。

例会記録

会員総数 60名 出席会員数 27名
ゲスト 3名 ビジター 1名
その他 0名 海外ビジター 0名
事務局 2名

ニコニコボックス

荒川会員：
細見様卓話を宜しく願い致します。
荘村会員：来年で還暦、まだまだ若々しく頑張ります
齊藤会員：90歳の母のお誕生日を祝いました。

次回予告

第35回例会 2025. 6. 23 (#2450)

最終例会 兼
会長幹事慰労会

17:30 受付
17:45 例会開始

お知らせ

2025 年度上半期お会費をお納めください
上半期お会費 210,000 円 60 周年記念事業積立分 20,000 円
合計 230,000 円

6 月 23 日は夜間例会、30 日は定款により休会
7 月 7 日 18:00～ 正副委員長対象でクラブ協議会
8 月 4 日 18:00～ 納涼会@H ニューオーターニ内「もみじ亭」

@H・マンダリンオリエンタル
38F「KESHIKI」

ファンドとコーポレイトの違い

(株)丸の内キャピタル代表取締役社長 藤田正敦氏(5/26 卓話 荒川会員紹介)



私は三菱商事に入社後、ずっと金融の業界、その中でもファンド関連業務が多かったです。丸の内キャピタルは三菱商事の投資会社として2009年に設立され、1号ファンドでは成城石井やタカラ

トミーなど、昨年立ち上がった3号ファンドでは永谷園などに投資しています。

ファンドの起源は大航海時代にさかのぼると言われております。国に雇われて航海に出た船員たちが帰還後、航海の給料や金銀など持ち帰ったものの一部を分配されたのが始まりとされています。ファンドも同じで、スポンサーを見つけ、投資してリターンを生み、その一部をファンド運営者がもらっています。

ファンドは、事業は持っているけれども経営資源がない投資先と、投資ノウハウはあるけれどもお金がない運用会社と、お金はあるけれども投資ノウハウがない投資家がそれぞれ足りないものを融通し合い、価値を増やす仕組みです。

ファンドにはいろいろな種類があって、バイアウトファンド(PE ファンド)は対象会社の経営権を取って改善する形のファンドです。ヘッジファンドは、株式や債券に投資するファンドで、アクティビストファンドはいわゆる「もの言う株主」です。その他、ベンチャーキャピタルや企業再生ファンドなどもあります。

日本では「ファンド＝ハゲタカ」というイメージが付いてしまいましたが、雇用を減らすことで失職した人が他業種に流れたり、リスクマネーが再生に使われたりといった循環を生むので、特に米国ではファンドは経済を再活性化させるものと位置付けられています。日本でもファンドが産業の活性化につながる時代が来ると思います。

米国では年金や保険会社が投資家になっていることが多く、多くの収益を生んでいます。日本の年金や保険会社は収益を出すのに苦労しています。しかし、彼らがやっていることはファンドへの投資なのです。従って、日本のQOLを上げるためにはこうしたファンドがもっと立ち上がる必要があり、年金や保険会社がファンドに投資してファンドが利益を生まなければなりません。われわれの孫の代にもちゃんと年金システムが運用されている形にしての日本全体のQOLを上げるというのがファンド運営者の思いです。

ファンドの仕事は、案件の発掘(ソーシング)、案件の実行や管理(エグゼキューション)、投資実行後の運用(バリュアアップ)、投資資金の回収(イグジット)の繰り返しです。その中で、われわれ PE ファンドは基本的に株式非公開の企業を買いに行きます。そして株を50%以上取得して自らリスクを負う「当事者」となり、必要に応じて経営陣を刷新して時代に合った形にしていきます。またわれわれは事業投資のプロ集団でもあります。

アジアの拠点として日本を選ぶ欧米ファンドが増えた事も一因ですが、M&Aの25%をPEファンドが占めるようになりました。

ファンドが事業承継に絡む事例も増えています。現経営者の子どもが若く、次代まで時間が空く場合、経験豊富な人をファンドが連れていき、4~5年中継ぎを果たすことに加え、次代の経営者も育てていきます。2024年度は107件もの事業承継にファンドが絡んでいます。これは今までの日本にはなかったことです。

PEファンドの場合、短期間で価値を向上することに軸足を置いています。事業会社を買収する場合は価値を上げるまでに20~30年持ってもいいと言うかもしれませんが、PEの場合は3~5年の間でやり切ります。

具体例としては、われわれはクイーンズ伊勢丹の大半を取得し4年間経営支援し、利益を4.4倍に上げました。商品オリジナリティの向上、戦略的PR、新規出店モデルの加速、業務構造改革の実行(残業時間の削減等)、三菱商事関連先との連携という五つの戦略によるもので、クイーンズ伊勢丹は伊勢丹三越に再び買っていただき、現在は伊勢丹三越の子会社として運営されています。

三菱商事は1980年代から米PEファンドに投資しており、日本経済にとってPEファンドが必要だと考えて丸の内キャピタルを始めました。クイーンズ伊勢丹の例では、コーポレイトがPEファンドを使う一例として、日本に入ってきたPEファンドの悪い影を少しは払拭することができたと思っています。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	荒川 和幸	FAX:03-3263-9122
幹事	守屋 幸作	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	URL: www.koujimachi-rc.jp